

2024年5月13日

各位

会社名 日本伸銅株式会社
代表者名 代表取締役社長 森山悦郎
(コード番号 5753 スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理統括部長 木本道隆
電話番号 072-229-0346 (代)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、当社の現状を評価・分析し、企業価値向上に向けた今後の方針・計画について決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 現状評価

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
売上高 (百万円)	17,218	15,618	26,137	27,242	23,338
営業利益 (百万円)	1,104	1,654	2,365	1,591	1,200
経常利益 (百万円)	1,492	606	1,503	1,505	801
当期純利益 (百万円)	1,027	415	1,058	1,031	555
1株当たり純資産額 (円)	3,496.28	3,700.06	4,268.30	4,822.16	5,113.31
1株当たり当期純利益金額 (円)	435.37	176.60	463.21	473.86	259.86
自己資本比率 (%)	71.1	67.2	61.3	67.2	73.0
ROE (%)	13.2	4.9	11.7	10.4	5.2
PER (倍)	2.4	8.6	4.2	4.3	7.6
株価 (3月末) (円)	1,041	1,516	1,956	2,051	1,969
PBR (倍)	0.30	0.41	0.46	0.43	0.39

当社の2024年3月期におけるROEは5.2%となりました。伸銅品の販売数量が前年同期比15.1%減となったことなどにより減収減益となったことから、直前2事業年度と比較すると大きく悪化しました。また、PBRは2024年3月末時点で0.39倍となっています。

PBRが低迷している要因としては、過去からの内部留保が少なかったため、配当性向を低めにせざるを得なかったことなどが挙げられます。

2. 改善に向けた方針・計画

親会社である株式会社CKサンエツからの経営指導と、兄弟会社であるサンエツ金属株式会社との間での、製品の相互OEM供給、原料の共同購買、人材交流等に取り組むことで、シナジーを追求し、

それにより利益水準を向上させることで、ROE 8 %以上を目指します。また、設備投資やM&Aに備えて内部留保の蓄積に努めると同時に、利益を増やして配当金を増額できるよう努力します。

以上